

Information_3



穏やかな気候になる日も増えて、春も少しずつ近づいてきましたね。
3月は、人も動物たちも春を迎える準備に追われ忙しくなる時期・・・
という訳で今回はシーズン直前『フィラリア予防薬・駆虫薬』についてのお話です。

フィラリア症について



フィラリア症は**犬糸状虫症**と呼ばれ、蚊が媒介する病気です。

動物		寄生場所	初期症状	進行した症状
犬	慢性	心臓・肺動脈 ※猫の体内では	咳・嘔吐 食欲不振 腹水・血尿 貧血	腎不全・心不全 肝臓病など
猫	急性	ほとんどが成長 できず死んでし まう	咳・嘔吐 食欲不振	生き残った少数の フィラリアによる急死



お薬を飲む（付ける）期間

フィラリアのお薬の効果は『**予防薬**』ではなく『**駆虫薬**』です。
そのため**蚊が出始める1か月あとから蚊がいなくなる1か月あと**
まで、フィラリア症のお薬を**月一回**飲ませ（または付け）ます。
当院では「**4～12月**までお薬が飲めたら安心」とお話していま
すが、地域によって違うのでどのくらいまで続けたら良いか迷っ
てしまったら、一度先生にご相談ください。

フィラリア予防・駆虫薬の種類



今回は当院でお取り扱いしている「**予防・駆虫薬**」のご紹介をします。

☆ハートメクチン（錠剤タイプ）

対象・・・犬

効果・効能⇒犬糸状虫の寄生予防

☆レボリューション（滴下剤タイプ）

対象・・・犬・猫

効果・効能⇒犬糸状虫の寄生予防

その他、ノミの寄生予防及びノミの駆除、

ミミヒゼンダニの駆除、回虫の駆除（猫のみ）

☆カルドメックチュアブル（おやつタイプ）

対象・・・犬

効果・効能⇒犬糸状虫の寄生予防

その他、犬回虫・犬鉤虫の駆除

この他にもお薬の種類は色々あります。

剤形のご希望がありましたらご相談ください。

フィラリアの予防・駆虫薬を正しく投与するために

今年の予防を始める前に、薬を安全に飲めるかの血液検査が必要です。
愛犬・愛猫と安心して一緒に過ごすためにも、早目に準備してあげた
いですね。

